

2022年12月1日

カイゲンファーマ株式会社

**クリーントップ KD-1®による耳鼻咽喉科用軟性内視鏡に対する  
洗浄消毒の有用性に関する研究成果が『PLOS ONE』に掲載されました**

カイゲンファーマ株式会社(本社:大阪市中央区、社長:笠松尚志)は、京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科および大阪医科薬科大学医学部 微生物学・感染制御学教室と共同で実施した研究で、強酸性電解水<sup>※1</sup>を消毒に用いる軟性内視鏡用洗浄消毒器クリーントップ KD-1 の、臨床使用後の耳鼻咽喉科用軟性内視鏡に対する消毒効果の有効性を明らかにした(*in vivo*)<sup>※2</sup>。また、強酸性電解水が耳鼻咽喉科領域感染症原因菌<sup>※3</sup> および新型コロナウイルス(以下 SARS-CoV-2)<sup>※4</sup>を不活性化できることを明らかにした(*in vitro*)。本研究成果は 2022 年 10 月 3 日に国際学術誌『PLOS ONE』に“Disinfection of otorhinolaryngological endoscopes with electrolyzed acid water: A cross-sectional and multicenter study”というタイトルで掲載されました。

<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0275488>

※1: 低濃度の塩化ナトリウム水溶液を電気分解することにより生成された強酸性電解水を使用。

※2: 本試験は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会によって承認され、大学病院、一般病院、診療所の 3 施設で合計 90 症例で実施。

※3: *Streptococcus pneumonia* NBRC102642、*Streptococcus pyogenes* GTC262、*Staphylococcus aureus* NBRC13276、*Klebsiella pneumonia* NBRC3512、*Haemophilus influenza* IID983、clinical isolates of  $\beta$ -lactamase-negative ampicillin-resistant *Haemophilus influenzae* (BLNAR)を使用。

※4: 新型コロナウイルス(【SARS-CoV-2 WK-521 株、国立感染症研究所より分与】および【OMC-510、大阪医科薬科大学病院より分与】)を使用。

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

カイゲンファーマ株式会社

koho@kaigen-pharma.co.jp